

## 第4学年〇組 道徳学習指導案

- 1 主 題 名 共に生きる 中学年2-(2)思いやり, 親切  
資 料 名 「ぼくらの街のパン屋さん」 (自作)

### 2 主題設定の理由

- 本主題は、「相手のことを思いやり, 親切にする」ことを主な内容としている。本時は「障がいをもっている人への思いやりや親切にする態度を育てること」をねらいとしている。  
現在, 知的障がい者の多くが特別支援学校へ通学しており, 特別支援学校卒業後は, 授産施設や作業所あるいは更正施設でくらしているという状況である。したがって, 子どもたちの日々の暮らしの中では, 限られた出会いしか経験がない。その限られた出会いの中から知的障がい者に対する見方ができてきているものと思われる。このような子どもたちに知的障がい者の置かれている現状と彼らを取り巻く人たちの思いや願いを伝えることによって, 障がい者への自然な接し方について考えさせ, 「いろんな人がいていいんだ。」という価値観と「共に生きていこう」とする心情を養っていくことは, 大変意義深いと考える。
- 本学級の児童は総合的な学習の時間「誰にも住みよい町, 〇〇」でアイマスクや車いすの体験をするなど身体障がい者の人に対しては理解しつつある。一方, 地域の中にも知的な障がいをもっている人がいることについてはあまり知らないようである。  
そこで, 地域の中にも障がいをもっている人がいて一生懸命に仕事をしている姿を知らせることは, 健常者も障がいをもっている人も「共に生きていく」という道徳的心情を高めるのに意義深いと考える。
- 本資料は人権読本「ぬくもり」を参考に地域の知的障がい者通所授産施設「〇〇〇〇〇」で働く障がい者の姿と思いを描いた自作教材である。  
本時指導にあたっては, 「ひまわり園」で働く人々の姿を通して, 障がいのある人に対する思いやり・親切という価値に迫っていきたい。導入段階では, ひまわり園で作られたパンを見せ, パンへの関心を高める。その後, パン作りの作業をしているところの写真を提示し, どのような人が作っているのだろうと想像させる。展開前段では, 資料を読み, 知的障がいをもつ人たちがパンを作っていることを知らせ, パン作りの大変さや喜びからひまわり園の人たちの思いに共感させる。展開後段では, 障がいのある人に対する今までの自分の見方を振り返り, 価値を内面的に自覚できるようにする。終末では, ひまわり園でパン作りの指導をしていらっしゃる方からパン作りの様子や知的障がい者の人たちのことを聞き, 自分たちも障がいをもっている人も, 「地域で共に生きていこう, 自然に接していこう」という心情を育て今後の生活での価値に対する意識の継続を図る。

### 3 本時のねらい

健常者も障がいをもっている人も地域で共に生きていこう, 思いやりの心を持ち自然につき合っていこうとする心情を育てる。

- 4 本 時 平成20年11月19日(水) 第5校時 第4学年〇組教室に於いて

### 5 地域との関連(地域のひと・もの・ことの活用)

自作地域題材: ぼくらの街のパン屋さん

地域人材: 知的障がい者授産施設「〇〇〇〇〇」職員

- 6 準備 資料「ぼくらの街のパン屋さん」, 〇〇〇〇〇で働く人の写真, ひまわり園で作ったパン, 道徳ノート



7 展開

段階	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
導 入	<p>1 焼きたてのパンを見て、学習のめあてについて話し合う。</p> <p>(1) だれが作ったパンかを予想する。 ・パン屋さん ・先生</p> <p>(2) パン作りの写真を見て、感じたことを発表する。</p> <p>(3) 「〇〇〇〇〇」でパンが作られていることを聞く。</p> <p>—めあて— 「〇〇〇〇〇」でパン作りをしている人の思いや願いについて考えよう。</p>	<p>○ 本時への資料の導入を図るために焼きたてのパンとパン作りの写真を提示する。</p> <p>○ 「〇〇〇〇〇」をより身近に児童にとらえさせるために、自分たちが住んでいる近くにあるということを知らせる。</p>
展 開  前 段	<p>2 資料「ぼくらの街のパン屋さん」を読み、話し合う。</p> <p>(1) 教師の範読を聞く。</p> <p>(2) パンを上手に作るができるようになるまでの主人公の苦労や喜びについて考える。</p> <p>○ なぜ、うまくできないのだろう。</p> <p>○ うまく焼き上がったときは飛び上がるほどうれしい。</p> <p>(3) パンを買いに来る人はどのような気持ちでパンを買いにくるのか考える。</p> <p>パンを買う人はどのような気持ちでパンを買いに来ているのでしょうか。</p> <p>○ おいしいから</p> <p>○ 地域で働く障がいをもっている人の力になりたい。</p> <p>○ 〇〇〇〇〇で働いている人達を応援したい。</p> <p>(4) 〇〇〇〇〇でパン作りをしている人の思いや願いについて考える。</p> <p>「〇〇〇〇〇」でパン作りをしている人はどのような思いや願いをもっているのでしょうか。</p> <p>○ おいしいパンを作って、お客さんにたくさん買ってほしい。</p> <p>○ 自分たちで働いて地域の中でみんなと同じように生活していきたい。</p> <p>○ 「△△△祭」にたくさん来てもらって自分たちのことをよく知ってもらいたい。</p>	<p>○ 障がいのある人が力強く生きていっている姿として「おいしいパン」を作っているという事実を知らせる。</p> <p>○ 資料を深く学ぶために難しいことに取り組んだ経験を児童に想起させる。</p> <p>○ パンを上手に作るができなくて、つらかった時の主人公の気持ちを考えさせる。</p> <p>○ パンを販売している写真を提示し、〇〇〇〇〇〇〇〇にパンを買いに来ている人の気持ちを考えさせる。</p> <p>○ 地域の人を支えていこうとする気持ちに気づかせる。</p> <p>○ 〇〇〇〇〇でパン作りをしている人の思いや願いについて考えさせる。</p>
展 開 後 段	<p>3 自分の生活を振り返り、障がいがある人に接した経験やその時の気持ちを道徳ノートに書く。</p>	<p>○ 想起できない児童には障がいのある人に対してどのような思いをもっていたかを書かせるようにする。</p>
終 末	<p>4 ゲストティーチャーの〇〇さんの話を聞く。</p>	<p>○ 地域で障がいをもつ人と共に生きていこうとする意識の継続を図る。</p>



8 板書計画

めあて

でパン作りをしている人々の思いや願いについて考えよう

ぼくらの街のパン屋さん

- 真けん
- 気持ちをこめて
- 一生けんめい
- がんばっている
- 月に2回のはん売会
- ……小のるす家庭子ども会のおやつ



○おいしいから

○ で働いている人達を応援したい。

○地域で働く障がいを持っている人の方になりたい。



- おいしいパンを作ってたくさん買ってもらいたい。
- 地域の中で自分たちで働いてみんなと同じように生活していきたい。
- 祭にたくさん来て自分たちのことを知って欲しい。

9 道徳ノート

道徳ノート


ぼくらの街のパン屋さん

名前（ ）

めあて

で、パン作りをしている人々の思いや願いについて考えよう。

○パンを買う人はどのような気持ちでパンを買いに来ているのだろう。



○ でパン作りをしている人はどのような思いや願いをもっているのでしょうか。

